

お知らせ

記者発表資料 配布日時	平成29年12月11日 14:00配付
----------------	------------------------

■同時発表先：鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、
広島合同庁舎記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

今年度創設された「i-Construction 大賞」 初の受賞者に中国地方の工事が選ばれました！

～「国土交通大臣賞」及び「優秀賞」に決定～

国土交通省では、建設現場の生産性向上に係る優れた取組を表彰するため、今年度「i-Construction 大賞」を創設し、初めての受賞者となる12団体（国土交通大臣賞2団体、優秀賞10団体）を決定しました。

中国地方の受賞者は、中国地方整備局発注工事を実施した2団体（JV含む）で、「国土交通大臣賞」及び「優秀賞」に選ばれました。

詳細については、別添「国土交通省 Press Release」をご覧ください。

※「i-Construction 大賞」とは建設現場の生産性向上（以下「i-Construction」という。）に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Constructionに係る取組を推進することを目的に今年度、創設されたものです。

※表彰対象は、平成28年度に完成した直轄工事を実施した団体で、i-Construction 大賞選考委員会の審査により、12団体の受賞者が決定されました。

＜受賞工事に関する問い合わせ先＞

【道路・河川分野の工事について】 082-221-9231（代表）[平日・昼間]

中国地方整備局 企画部 技術管理課長 ^{さだとう} 貞任 ^{としふみ} 俊典 （内線3311）

【港湾分野の工事について】 082-511-3900（代表）[平日・昼間]

中国地方整備局 港湾空港部

港湾空港整備・補償課長 ^{あだち} 安達 ^{たかし} 崇 （内線190）

※「i-Construction 大賞」に関する問い合わせは、別添「国土交通省 Press Release」に記載の問い合わせ先へご連絡下さい。

【広報担当窓口】 082-221-9231（代表）[平日・昼間]

中国地方整備局 広報広聴対策官 ^{さかや} 坂屋 ^{まさゆき} 政之 （内線2117）

企画部 環境調整官 ^{あだち} 足立 ^{つかさ} 司 （内線3114）

【別 添】

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成 29 年 12 月 11 日
大臣官房技術調査課
大臣官房公共事業調査室

今年度創設した「i-Construction 大賞」の初の受賞者を決定しました！
～ベストプラクティスの水平展開に向けて～

国土交通省は、建設現場の生産性向上に係る優れた取組を表彰するため、今年度「i-Construction 大賞」を創設し、初めての受賞者となる計 12 団体（国土交通大臣賞 2 団体、優秀賞 10 団体）を決定しました。

1. 「i-Construction 大賞」とは

建設現場の生産性向上（以下「i-Construction」という。）に係る優れた取組を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、i-Construction に係る取組を推進することを目的に今年度、創設したものです。

2. 表彰対象・審査

平成 28 年度に完成した直轄工事を実施した団体を対象とし、i-Construction 大賞選考委員会において、12 団体を受賞者（別紙のとおり）に決定しました。

3. 今後の予定と取組について

後日、授与式を開催する予定です。詳細が決まり次第、お知らせします。

今後は昨今の取組の広がりを踏まえ、地方公共団体発注工事や民間企業の独自の取組も表彰対象とし、官民間問わず優れた取組の全国的な普及・展開を推進していく予定です。

問い合わせ先

（道路・河川分野の工事について）

大臣官房技術調査課 竹下、内山

TEL : 03-5253-8111（内線 22353、22355）、03-5253-8221（直通）、FAX : 03-5253-1536

（港湾分野の工事について）

大臣官房公共事業調査室 塩田、中村

TEL : 03-5253-8111（内線 24291、24297）、03-5253-8258（直通）、FAX : 03-5253-1560

平成29年度「i-Construction大賞」受賞案件

NO	表彰の種類	分野	業者名	工事名	工事担当地
1	国土交通大臣賞	道路	かぶしきがいしゃ すなごぐみ 株式会社 砂子組	どうおうけんれんらくどうろ ちとせし いずみきりりょうこうじ 道央圏連絡道路 千歳市 泉郷改良工事	北海道
2	国土交通大臣賞	道路	ぎけんこうぎょう かぶしきがいしゃ カナツ技建工業 株式会社	たきあさやまどうろおだちくかいりよげい こうじ 多伎朝山道路小田地区改良第1 2 工事	中国
3	優秀賞	河川	かぶしきがいしゃ おやまけんせつ 株式会社 小山建設	きたかみがわじょうりょうまがたちくちくていもろどこうじ 北上川上流曲田地区築堤盛土工事	東北
4	優秀賞	河川	かなすぎけんせつ かぶしきがいしゃ 金杉建設 株式会社	あらかわにしくかわごえせんかりゅうしちちくていこうじ H 2 7 荒川西区川越線下流下築堤工事	関東
5	優秀賞	河川	あいづどけん かぶしきがいしゃ 会津土建 株式会社	みやこじゃくしょうていぼうたいさくこうじ 宮古弱小堤防対策工事	北陸
6	優秀賞	道路	かぶしきがいしゃ あらいぐみ 株式会社 新井組	へいせい ねんちゅうぶじゅうかんにゅうかわせいぶちくどうろけんせつこうじ 平成27年中部縦貫丹生川西部地区道路建設工事	中部
7	優秀賞	道路	なかばやしけんせつ かぶしきがいしゃ 中林建設 株式会社	だいにはんわこくどうおおたにちくどうろせいびこうじ 第二阪和国道大谷地区道路整備工事	近畿
8	優秀賞	港湾	ごよう いちりどくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 五洋・井森特定建設工事共同企業体	とくやまくだまつこうしんなんようちくこうろ しめんせつこうじ 徳山下松港新南陽地区航路(-1 2 m) 浚渫工事	中国
9	優秀賞	河川	かぶしきがいしゃ ふくいくみ 株式会社 福井組	H 2 7 - 2 8 かわしまろすすいたいさくこうじ 川島漏水対策工事	四国
10	優秀賞	港湾	わかちく とくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 若築・あおみ特定建設工事共同企業体	すきまこうわんちくぼうはていちくぞうこうじ 須崎港湾地区防波堤築造工事	四国
11	優秀賞	河川	かぶしきがいしゃ のぞえどぼく 株式会社 野添土木	はせがわ こうとこかたぬこう うぎんどうりゅうていこうじ 長谷川4号床固工・右岸導流堤工事	九州
12	優秀賞	道路	かぶしきがいしゃ まるまさこうむてん 株式会社 丸政工務店	へいせい ねんどおんなみみ こうくかいりょう こうじ 平成28年度恩納南B P 1 工区改良(その1 3) 工事	沖縄

中国地方整備局
関係工事のみ添付

i-Construction大賞工事概要

2. カナツ技建工業(株) 多伎朝山道路小田地区改良第12工事

推薦整備局等	中国地方整備局
推薦事務所	松江国道事務所
工期	平成28年3月18日～ 平成29年2月28日
施工場所	島根県出雲市多伎町小田地内
請負代金額	484,920千円
業者名	カナツ技建工業株式会社

【工事概要】

工事延長 L=600m
 路体盛土V=140,600m³、土質改良V=100,600 m³、埋土V=880m³、法面整形工1式、封じ込め対策工V=12,800m³、法面工1式、擁壁工1式、石・ブロック積(張)工1式、カルバート工1式、排水構造物工1式、道路附属施設工1式、構造物撤去工1式、仮設工1式

○地元企業中心の体制で地元業界のICT活用技術力を向上



➤ 元請自ら3次元設計データを作成

○ICT活用普及で現場の魅力を上



➤ 自治体・企業勉強会

➤ 若手技術者向け研修



➤ プロジェクトチーム“i-Con etc隊”
(アイコン エトセトラ)



➤ 地域住民見学会



➤ 女性技術者向け講習会

○3次元設計・施工データの作成・活用を元請自らが主体的に実施するとともに、地元の測量設計機械土工業者、地域の測量機器取扱業者、専門企業であるソフトメーカーで編成するプロジェクトチームを設置するなど、地元業界のICT活用技術力向上や地域のICT活用普及に寄与。

○地方自治体、地元企業を招いた勉強会、地域住民への見学会、若手技術者研修や女性技術者向け講習会など、地域のICT活用普及とICT技術者・担い手育成に積極的に取り組み、ICT活用による現場の魅力アップに貢献

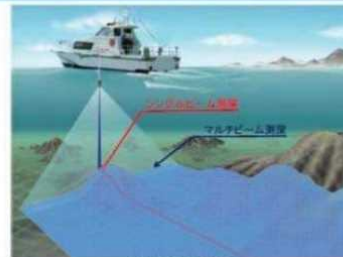
8.五洋・井森特定建設共同企業体 徳山下松港新南陽地区航路(-12m)浚渫工事

推薦整備局等	中国地方整備局
推薦事務所	宇部港湾・空港整備事務所
工期	平成28年5月26日～ 平成28年10月20日
施工場所	徳山下松港
請負代金額	940,731千円
業者名	五洋・井森特定建設工事共同企業体

【工事概要】

本工事は、徳山下松港新南陽地区航路(-12m)の浚渫工(約174千㎡)及び土捨工(約174千㎡)を施工するものである。

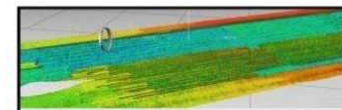
マルチビーム測深(vs シングルビーム測深)



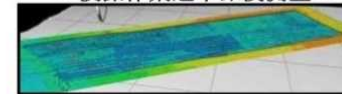
マルチビームにより一度に広範囲の測量が可能となり測量作業が効率化。



<事前深浅測量>



<浚渫作業途中深浅測量>



<出来形深浅測量>
3次元地形データ



施工管理システムのモニター表示例

○一度に広範囲かつ高精度な測深ができるマルチビームによる測量を採用し、測量の効率化を図るとともに、マルチビームによる3次元データの活用と併せて浚渫作業時のバケット位置及び掘り跡をリアルタイムに表示する施工管理システムを導入することで、水中での施工状況をより『見える化』して作業精度の向上、掘り直しの低減を図り、浚渫工の作業効率を向上した。

○本工事で施工業者が自主的に行ったマルチビームを活用した浚渫のデータ提供が、平成28年度に策定された「ICT浚渫工」の技術基準におけるデータの取得点密度の規定などに反映されており、「ICT浚渫工」に活かされた。